

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473701256	事業の開始年月日	平成17年3月1日	
		指定年月日	平成17年3月1日	
法人名	医療法人 徳寿会			
事業所名	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台			
所在地	(227-0033) 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町758番地1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成27年3月1日	評価結果 市町村受理日	平成28年6月27日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>外出する機会を多く設ける様にし、地域・社会との繋がりを大切にしている。個人の思いを大切に、その人らしい生活が送れるように支援している。職員は、内外の研修へ参加しスキルアップに努めている。</p>
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成28年3月22日	評価機関 評価決定日	平成28年6月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、東急田園都市線青葉台駅からバスで10分、成合バス停から徒歩で5分ほどの郊外の閑静な住宅地にある。法人は医療法人で、病院や介護老人保健施設などを運営している。当該事業所は、同法人の介護老人保健施設に隣接した高台の斜面に建てられている。付近の竹林や畑が見渡せる静かな環境である。</p> <p>【法人間の連携】 法人が実施している年間研修に、事業所職員が参加している。隣接した介護老人保健施設からは、朝・昼・夕三食の副食が運ばれてくる。「夏まつり」にも招待されて、利用者はゲームなどを楽しんでいる。避難訓練には職員が参加している。関連法人のグループホームと共同で運営推進会議を開催するほか、毎月行われるグループホームの施設長会議で情報を共有している。法人内での職員の交流や異動もある。</p> <p>【利用者と向き合う姿勢】 理念の「高齢者の福祉と人生の質の向上」を重んじ、一人ひとりに向き合うサービスを実践している。利用者の話をじっくり聞き、利用者のやりたいこと、できることへの支援を怠らないよう努めている。また「ケアの質の向上」にも積極的に取り組み、法人の研修や外部の勉強会に参加をして、職員間で情報を共有している。職員は、家庭的で利用者本位のサービスを提供するよう心がけている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム プラチナヴィラ青葉台
ユニット名	1階 ユニット

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3, 利用者の1/3くらいの
		4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1, 毎日ある
	○	2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
	○	2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
	○	3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
	○	2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
	○	2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
	○	2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
	○	2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
	○	2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
	○	2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

事業所名	グループホーム プラチナヴィラ青葉台
ユニット名	2階 ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念にそった年間目標を毎年立てている。より良い施設運営を職員同士で目指している。	法人理念は、新人研修時のほか、毎年の全体会議の時に理事長が話をしている。法人理念の「質の向上を目指す」をもとにして、毎年職員でグループホーム共通の年度目標を定めている。今年度は「地域密着」を掲げ、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域のお祭りやイベント、掃除にも参加している。 また、散歩や買い物などで挨拶を交わし、顔馴染みの環境作りを行い交流を続けている。	町内会に加入し、花見や夏祭りなどのイベントや地域の道路清掃に利用者と共に参加している。今年度は、職員が地域の方と一緒に小学校で行われた防災訓練を見学した。散歩に出かけ、近隣の方とあいさつを交わしている。正月の獅子舞やマジック、日本舞踊などを披露するボランティアが来訪している。クリスマス会などの事業所の行事の時にも参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事への参加や近隣のお店を利用する事で、人々と接し理解を得るよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や地域住民より、率直な意見を聞ける場となっている。意見をホームに持ち帰り、改善や地域の情報を得る機会となっている。	グループホームプラチナホーム鴨志田と合同で2か月に1度、町内会長や民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得て開催している。会議の場所が当該事業所でないため、6月から利用者家族は参加していない。民生委員からは、3月末に実施する地域の避難訓練の参加協力を得た。	利用者家族や地域の方の参加が得やすいよう、年間6回実施してるうちの数回を、当該事業所内で行うなどの工夫を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区や市の研修に参加。運営推進委員会で事業所の様子を伝え、助言を得ている。	生活保護受給者の面談に年に1度、市のケースワーカーの来所がある。横浜市グループホーム協議会に加入し、職員の交換研修を行っている。地域包括支援センターからは、時々空室の有無の問合せがある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束を行わない事を理解している。事業所の前の道路は交通量が多く危険な為、利用者の状況に合わせて、必要に応じてユニットごとにドア施錠をしている。	法人本部で研修をしている。研修内容については会議の際に報告し、資料を閲覧できるようにしている。管理者は職員に対して、利用者の行動を制限するような声かけをしたり、大きな声を出したりしないよう現場で注意をしている。玄関は施錠しているが、ユニット出入り口は開いている。玄関で外に出たそうにしている利用者には、職員が声掛けをし、付き添って散歩に出かけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	虐待マニュアルは常に閲覧出来る所に掲げてある。研修に参加し、情報の共有と意識改善する機会を作り、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部の研修に参加し、理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、利用契約書・重要事項説明書の内容説明を行い、当事業所への希望を伺い、対応可能な内容の確認を行っている。管理者がご家族様に説明しご理解の下、契約書を交わしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱をご家族様の目の付きやすい所に設置。面会や行事など来訪時に、本人の様子を伝えている。 ケアプランは、本人やご家族様の意見を聞き、反映させている。	年に2回、新聞を発行し行事時の写真を掲載している。3か月ごとのケアプラン更新時に来所する家族が多いのでその機会に直接意見や要望を聞き、利用者個々のサービスに反映している。外出行事は、一緒に参加した家族にも好評であったことから、来年度も実施することになっている。	個別にいただく意見も大切ですが、家族同士が自由に意見を言える場の提供や、運営に関する情報提供の工夫に期待しています。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は面接やミーティングにて、職員の意見を聞く努力に努めている。内容は、定期的開催する定例会にて法人に伝えている。	フロア会議を不定期に開催している。管理者は、申し送りやミーティングの際に、出勤している職員から意見や提案を聞いている。行事について職員からアイデアを募り、ズーラシアへ遠足に出かけたり、ファミリーレストランでの外食などを行った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人目標管理シートで、各自目標を設定し、評価している。面接を行い、目標の方向性や達成水準を確認し向上心を育成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員がスキルアップの機会を得られるよう、内部・外部の研修への参加を支援している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修や内外の研修に参加する事で、他グループホーム職員と交流を図り、会議などで共有しサービスの質の向上に努力している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時などに、ホームへの希望と共に、今までの生活歴や生活環境を伺い、今後ホームで安心して生活して頂けるよう、取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との電話、又は面接時の会話にて悩んでいる事を伺いホーム入居に関しての心配や不安を減らす努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に、ご本人やご家族様に今後の希望を伺い、必要な支援が受けられるように提携機関、協力機関と連絡を取っている。必要に応じ、今まで利用していた機関からの情報も得ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で、掃除や洗濯、買い物などの家事を一緒に行いながら、個々に合わせたケアを取り入れる様に務めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の様子や体調・要望等を電話や面会時に細めに伝えるようにし、本人の生活がより良いものになるよう、家族、職員で話し合う機会を作っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚・知人・友人の来訪を歓迎し、楽しい時間を過ごせるよう支援している。電話や手紙、贈り物の取次も行っている。	知人や入居前に勤めていた職場の友人、習い事の弟子などの面会があり、居室で湯茶のもてなしを行っている。利用者全員で年賀状を作って送り、家族から喜ばれている。馴染みの美容院や教会へは、家族が同伴している。お彼岸にはみんなでおはぎ作りを行った。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないよう、時々席替えをしたり、職員が会話に入ったり、全員で楽しめるレクリエーションを行ったりして、新しい関係を築けるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設へ移られた後も面会に行ったり、家族からの相談にも応じている。契約終了後も、以前と変わらない様な支援が出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、利用者の意向や希望を聞き、情報は申し送りや記録で共有している。把握が困難な時は表情や行動から汲み取る事を心掛けている。	月に1回「料理の日」を決め利用者から希望を聞いてメニューを決めている。居室を担当する職員を決め、担当職員が利用者の話をじっくり聞くよう努めている。情報は介護記録に記載し共有している。意向の把握が困難な利用者には、表情を読み取り、察することを心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様やご家族様から生活歴や生活習慣を伺い、入居後もこれまでの生活が維持出来るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子や体調、言動の変化などを記録に残し申し送ることで、全職員が現状を把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	居室担当者は、ご本人様・ご家族様の意向や医師の所見も取り入れて介護計画を作成する。通常は3か月毎に、急変時はその都度見直しをしている。	カンファレンスは、居室担当職員が出席し、モニタリングや評価を行っている。医療情報や利用者の希望をを踏まえて、達成可能な目標を決め、3か月ごとに見直ししている。職員はカードックスに挟まれた計画書の目標を見ながらサービスを行い、介護記録には、その実績を記入している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録をもとに、職員間で話し合い介護計画を作成している。また、介護計画を毎日のケアに反映出来るよう介護記録の横に入れ職員間で共有出来るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて医師、看護師、薬剤師、在宅医療マッサージ、他施設の相談員、福祉用具店などの協力を得て、その時に必要としているものを提供する努力をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の清掃活動へ参加したり、またボランティアや移動販売を受け入れ楽しい毎日を送れるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の往診を受けているが、家族の付き添いで他受診も可能である。歯科は協力病院への受診か往診を、ご本人様・ご家族様の希望で選択している。	全員が協力医の往診を受け、協力医は「健康管理用紙」を発行している。眼科や整形外科などの専門医への受診は家族が行い、その都度職員が受診結果を聞き取り「外来診察記録」に記入している。看護師は、週に1度、法人の訪問看護ステーションから来訪している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人の看護師へ心身の状態やご本人様・ご家族様の希望を報告し適切なアドバイスを受け、健康管理を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーや受診・往診の記録で情報を伝え、安心して生活出来る様に支援している。また、面会、ムンテラ時に同席し退院後の受け入れ態勢を整えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応に係る方針を定め同意書を得ている。また、協力医療機関よりの医師、看護師、ご家族様と話し合いを重ね今後の方針を共有する体制がある。	法人で「重度化した場合の対応に係る指針」を作成し、入居時に家族に説明している。毎年「緊急時の対応同意書」を更新し意向を確認している。看取りの事例はないが、協力医や家族と話し合いながら、事業所が対応できる最大限の支援を行う方針を職員間で共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルがあり、それに沿って対応している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、避難訓練を行っている。併設している同法人施設より協力を得る様になっている。	10/4は夜間想定での避難訓練を行い、利用者の避難誘導を行った。3/31には昼間の時間帯を想定して、火災避難訓練を行う予定である。隣接の同法人施設や町内会、近隣住民に通知して協力を仰ぐ予定である。カセットコンロや飲料水、米などの備蓄を1階のロッカールームに保管している。	近隣の方の協力を得た避難訓練を実施してください。備蓄は、リスト表を作り、計画的に管理されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はご本人様の人格を尊重し、プライドを傷つけないよう意識して言葉掛けを行い、個人記録には氏名の明記などをしないよう職員全員が周知し、その人らしさを大切にしている。	法人でプライバシー保護の研修を行っている。管理者は、トイレ誘導の際は、利用者の耳元で小声で言うよう指導している。介護記録は開示することもあるので、利用者名はイニシャルで書くよう指導している。入室の際は「お邪魔します」と声掛けをしている。個人の記録は鍵のかかる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人の嗜好や意思を尊重できる場を作る様心掛けている。また、意思決定が困難な時や迷っている時は傾聴し思いを汲み取る努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の無理のないペースで、個々の生活スタイルに添って生活出来るように支援する。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容と連携を図り、ご本人様の望む身だしなみやおしゃれに添えるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶入れ、盛り付け等の準備や後片付けを職員と一緒にやっている。出来る事を出来る時に一緒に楽しみながらやっている。また、お料理会を月に一度、開催する様になっている。	隣接した同法人の介護老人保健施設の厨房で作られる副食を届けてもらっている。みそ汁とご飯は、事業所で作っている。利用者は、職員と共に盛り付けや配膳をしている。職員は利用者と同じテーブルで、同じ食事を食べ、見守りをしている。月に1回、利用者とメニューを相談して食材の買物に出かけ、事業所で一緒に調理をする「お料理会」がある。年に1回全員で外食に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が考えた献立を提供している。摂取量や食べ方を記録し、本人に合わせ、食べやすい様に工夫したものを提供している。季節や体調に合わせて水分補給に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは、個人の能力に対応した支援を行っている。必要に応じ歯科衛生士よりアドバイスを貰っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、出来るだけトイレにて排泄出来る様に誘導のタイミングを考えている。また、本人の行動のサインを見逃さないよう、配慮している。	各ユニットにトイレが3か所あり、うち2ヶ所は、車椅子等の対応が可能なトイレである。カーデックスに個人別の排泄チェック表があり、食事の前後など定時の時間で誘導し、記録している。立位が取れるよう機能訓練を行ったり、布パンツに戻れるよう支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便状態やパターンを把握し、水分量や内服薬の調整を行っている。散歩、体操、腹部マッサージを行い、便秘改善に努めている。必要に応じ医師や看護師よりアドバイスを得ている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	無理強いせず、個々の希望やタイミングに合わせて入浴している。また、季節に合わせて、ゆず湯や菖蒲湯なども行っている。	入浴は週に2回を原則としている。夏場は3回の入浴ができるよう支援している。面会や利用者の様子を配慮して曜日や時間を変更している。入浴を好まない利用者には、時間や対応する職員を変えて声掛けしている。利用者は、それぞれ好みのシャンプーやリンスを個別のバケットに入れ、入浴の時間を楽しんでいる。ゆず湯などの行事湯も行う。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	介護記録にて個々の睡眠状況を把握し、安眠、休息への支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	健康管理ノートや薬局の情報にて職員は薬の目的や副作用を確認している。また、薬変更時は心身の状態を観察し、記録に残して変化に気付ける様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの好みや得意な事を活かし、ご本人様の希望に添える様、支援している。買い物、散歩、行事参加を楽しみにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人様の希望に応じた外出、買い物に出掛け、気分転換を行っている。家族の協力のもと、旅行や外食、教会など、本人が望む生活を行っている。	4月の町内行事である「お花見」には毎年利用者と共に参加している。今年度は、家族参加の行事としてズーラシアへの遠足とファミリーレストランでの外食を行った。天気の良い日は、筋力のトレーニングを兼ねて散歩に出かけている。車いすの方でも近所の店舗まで買い物に行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や移動販売などでご本人様が希望した時は、ご本人様が支払える様、支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人情報に配慮して電話を取り次いだり、手紙や年賀状など、大切な人との繋がりが途切れない様に支援している。また本人の携帯は常に使用できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに協力して作った季節の壁飾りを展示したり、テーブルに花を飾ったり、居心地のいい空間を演出している。	共用空間は、廊下が広くゆったりとした造りになっている。利用者は、職員と共に毎日モップ掛けをしている。居間は、大きな窓に囲まれて明るく、外の竹林のそよぎが見える。窓ガラスは年に2度、床は年に1度業者が清掃を行っている。居間と脱衣所は床暖房で、居間には空気清浄機をおいている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご本人様の活動に合わせ、席の配置の工夫をしている。パズルや塗り絵、読書など、一人や気の合った方とでも過ごせる環境を作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご本人様・ご家族様と話し合い、自宅で使用していた家具を配置したり、家族の写真や縫ぐるみなどを飾ったりして、居心地のいい空間を作っている。	居室はゆったりとして扉も大きい。エアコン、クローゼット、照明器具は備え付けである。利用者は使い慣れたベッド、タンス、机、テレビなどを持ち込み、家族の写真などを飾っている。化粧道具やマニキュアを使用する利用者もいる。利用者が居心地良く、思い思いに生活の場を設けている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の基本動作を把握し、能力に応じ生活が送れるよう、共有部分に手すりや洗面所近くに椅子を置いている。また、トイレなどを明記して安心して生活出来るような環境を作っている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム プラチ
ナ・ヴィラ青葉台

作成日 2016年 6月 27日

【目標達成計画】

優先 順位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	地域との交流はあるが、災害時の協力体制などが得られていない。	事業所と地域との交流をより深め、信頼関係を築き、災害時の協力体制を確立していく。	運営推進会議でホームの行事や避難訓練の日時を伝え、地域の方に参加していただけるよう働きかけていく。地域との交流をより深く係わり合い信頼関係を構築し互いに助け合える関係を築く。	1年間
2		ご家族様とスタッフ間では、話し合いの場はあるが、ご家族様同士の話し合いの場がない。	ご家族様同士やスタッフと気兼ねなく意見が交わせるようになる。	行事（家族会）で、ご家族様同士やスタッフが気兼ねなく話しが出来る場の提供。	2年間
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。